

江戸時代の借金は「口約束」からはじまった——

大量に残された証文を読み解き、江戸時代のリアルな借金事情を明らかに。近世古文書学などの文献史学はもちろん、アーカイブズ学、経済史、農業史、法制史にも寄与。

江戸の借金

—借りてから返すまで—

荒木仁朗 著

(明治大学兼任講師・博士)

2023年5月20日刊行予定 定価 8,800円 (本体 8,000円+税 10%)

A5判・上製・カバー装・354頁

ISBN978-4-8406-2264-6 C3021 ¥8000E

①借りてから返すまで——大量の証文が語るリアルな借金事情

証文はなぜ大量に残されたのか。

膨大な証文を徹底調査し、お金を借りてから返済するまでの全体を理解し、江戸時代の借金事情を明らかにする。

②「口約束」から「一筆をとる」まで——驚きの金融事情

借金や土地売買は口約束からはじまった——現代では考えられない江戸時代の常識「口約束」から、書面で取り交わされた借金に至るまで、丁寧に解き明かす。

③史料読解の新しい手法——新たな近世古文書学・アーカイブズ学を提示

金子借用、土地売買など地方文書で大量に残される証文類は、どのように読むべきか。実際に調査した文書写真とその解釈を掲げた、古文書調査に必読の書。

さらに古代から現代にいたるまで、借金にまつわる書き下ろしコラム6本を収録。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300

pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【目次】

序章 借金と証書類

はじめに／第一節 証文の形式について／第二節 研究史の整理と課題

第一部 村の返済マニュアル

第一章 口約束から一筆へ

はじめに／第一節 「口入金借方覚帳」の史料的性格／第二節 金子借用の実態／
第三節 一筆を取るまで／おわりに

〔コラム〕古代は借金地獄？ 出挙の裏表

第二章 一筆の行方

はじめに／第一節 証書類とその時期的分布／第二節 証文と借用金額／
第三節 借金の継続と証文の書替／第四節 永代売の実態／おわりに

〔コラム〕徳政令の真実

第三章 土地を取り戻す

はじめに／第一節 返り手形と永代売／第二節 「帰り永代」慣行の特質と展開／おわりに

〔コラム〕江戸の公金貸付は返済不要？ 公金貸付の実態

第二部 変容する村の返済マニュアル

第一章 災害と借金

はじめに／第一節 帳簿からみる借金返済の概観／第二節 借金返済の変容と請戻し権の喪失／おわりに

〔コラム〕明治の買戻し慣行

第二章 返済条件の変更

はじめに／第一節 足柄下郡根府川村について／第二節 享保期の有合売渡と金子借用／
第三節 寛延から天明期の有合売渡と金子借用・質地／おわりに

〔コラム〕戦後のいつの間にか戻ってきた土地

第三章 流地と生活支援

はじめに／第一節 請戻し不可文言と土地売買／第二節 祝金と請戻し不可／第三節 一九世紀小田原の
借金返済／第四節 請戻し不可契約後の行方／おわりに

〔コラム〕世界の借金事情 ―イタリア都市国家とイスラーム銀行―

終章 借金と村

はじめに／第一節 各部のまとめ／第二節 近世農村借金返済（債務処理）の過程と村の関与／第三節
近世農村借金返済（債務処理）の歴史的位置／おわりに

あとがき／索引



【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	荒木仁朗著／八木書店刊 江戸の借金 一借りてから返すまで ISBN978-4-8406-2264-6 C3021 ¥8000E 定価 8,800 円（本体 8,000 円＋税 10%）	2023年5月20日刊行予定 〔 〕冊	取扱店（番線印）
	お名前（ふりがな）	TEL	
	ご住所 〒	FAX	
		E-MAIL	